

平成30年4月入学

東京工業大学

環境・社会理工学院  
技術経営専門職学位課程

社会人募集  
学生募集要項

平成29年10月



東京工業大学  
Tokyo Institute of Technology

願書受付期間：平成29年11月14日（火）～11月16日（木）

## 1 学院・専門職学位課程名及び募集人員等

- (1) 学院・専門職学位課程名 ー 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程
- (2) 取得できる学位 ー 技術経営修士(専門職)
- (3) 募集人員 ー 15名(「社会人」のみ)

注) 本選抜上の「社会人」とは「出願時に企業等に正規の職員として雇用されており、合計勤続年数が3年以上の者」とします。2頁の「3 修士課程(専門職)出願資格」を参照してください。

## 2 専門職学位課程案内, 指導教員及び研究分野

本課程は、イノベーション創出のリーダーとして科学・技術を活用し、自ら理論を構築して産業や社会の発展に貢献する実務家を養成することを目的とします。

本課程では、以下のような人材の育成を目指します。

- ・ 技術や経営に関する卓越した知を創造し、新規事業やプロジェクトを戦略的に設計・立案し実行していく実務家
- ・ 科学・技術知の創造を促し、科学・技術知の社会化・産業化を進めることを通じて、豊かな社会を実現するイノベーター
- ・ 判断のための論理を事実に基づいて自ら構築し、自らが先頭に立って行動することで困難を打開できるクリエイティブなリーダー
- ・ 世界のトップスクールや国際機関で世界に伍して戦い、活躍できる一流の研究者

指導教員		研究分野	備考
教授	池上 雅子	国際安全保障, 技術安全保障・技術移転, 科学技術政策, 意思決定分析, 軍縮軍備管理・核不拡散, 紛争予防・信頼醸成	
教授	後藤 美香	生産経済学, 組織の効率性評価, エネルギー産業論	
教授	西條 美紀	コミュニケーションデザイン, ユーザー中心設計, 知識管理・談話管理	
教授	橋本 正洋	イノベーション政策, 知財戦略, 知財政策, 技術経営学	
教授	比嘉 邦彦	テレワーク, クラウドソーシング, e-コマース, 組織改革, 地域活性化	
教授	日高 一義	サービス科学, 製造業・情報産業・医療・交通・エネルギーマネジメントに於けるサービスイノベーション	
教授	藤村 修三	イノベーション理論, 技術者のキャリア, サイエンス型産業	
教授	宮崎 久美子	技術経営戦略, 科学技術政策, セクターイノベーションシステム, R&Dマネジメント	
准教授	梶川 裕矢	技術経営学, 科学技術政策, 持続可能性と社会イノベーション, 情報分析と設計の方法論, 知識の構造化	
准教授	仙石 慎太郎	技術経営学, イノベーション経営論, バイオ・ヘルスケア産業論	
准教授	辻本 将晴	経営戦略論, 経営組織論	
准教授	中丸 麻由子	社会シミュレーション, 人間行動進化学	

### 3 修士課程(専門職)出願資格

社会人(注)であって、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成30年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定(大学改革支援・学位授与機構)により学士の学位を授与された者及び平成30年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月31日までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、次のいずれかの要件を満たす者
  - 一 日本国内において、高等専門学校若しくは短期大学の専攻科、朝鮮大学校又は外国大学日本校(文部科学大臣が別に指定する教育施設を除く。)の教育を受け、16年の課程に相当する期間を修了したと認められる者(先に掲げた教育機関の卒業生又は入学する日の前日までに卒業する見込みの者)であって、入学する日の前日までに22歳に達するもの
  - 二 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に定める日以前に修了した者
  - 三 高等専門学校若しくは短期大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し退学した者で、企業等において、2年以上正規職員としての勤務歴を有する者
- (11) 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって次の2つの条件を満たし、かつ本学大学院が我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
  - 一 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として1年以上研究に従事した者及び平成30年3月31日までに1年以上研究に従事する見込みの者
  - 二 平成30年3月31日までに22歳に達するもの

(注) 本選抜上の「社会人」とは「出願時に企業等に正規の職員として雇用されており、合計勤続年数が3年以上の者」とします。

〔出願資格審査について〕

出願資格（9）、（10）及び（11）による出願者は、出願資格審査を行いますので下記の〔出願資格審査書類〕を一括して平成29年10月24日（火）17時（必着）までに入試課に提出してください。郵送による場合も10月24日（火）（必着）とします。

なお、**出願資格（10）及び（11）の該当者は、提出前に必ず入試課まで問い合わせてください。**

出願資格審査の結果通知は、11月7日（火）頃に発送します。11月11日（土）までに届かない場合は、入試課へ確認してください。（TEL. 03-5734-3990／平日9:00～17:15〔12:15～13:15 除く〕）

〔出願資格（9）の該当者への注意事項〕

出願資格（9）のうち本学学部から飛び入学で出願する場合については下記1～3の要件を満たす必要があります。

なお、他大学からの飛び入学による出願の場合はこれに準ずることとします。

1. 平成30年3月31日において、大学在学期間が3年間に達すること。ただし、大学を卒業した者及び平成30年3月31日までに卒業見込み（早期卒業を含む）の者は、出願資格（1）となり、出願資格審査は不要です。
2. 2年次までに、当該志願者の所属学科（これに相当するものを含む）における成績順位が上位約5%以内であり、かつ、原則として95単位以上を修得していること。
3. 3年次までに、原則として専門科目を60単位以上及び卒業に必要な全学科目（文系科目、（総合科目）、（文理科目）、国際コミュニケーション科目Ⅰ・Ⅱ、理工系基礎科目及び健康・スポーツ科目）の単位を修得見込みであること。なお、入学試験に合格した後、これらの単位を修得することができないことが確定した場合には、合格を取り消すこととします。

※飛び入学で出願し、本学大学院修士課程に入学する場合、学部学生としての学籍上の身分は、退学となります。各種国家試験等の受験資格では、大学の学部卒業が要件となっているものもあります。また、海外の大学の大学院を受験する場合に受験資格が認められない可能性もあります。注意してください。

なお、学士の学位の取得を希望する者は、「大学改革支援・学位授与機構」に学位授与申請を行ってください。審査に合格した場合に「大学改革支援・学位授与機構」より学士の学位が授与されます。ただし、大学卒業とはなりません。（大学改革支援・学位授与機構ホームページ <http://www.niad.ac.jp/>）

〔出願資格審査書類〕

出願資格（9）の場合

- 1：出願資格審査申請書（所定用紙）
- 2：所属大学（学部）長推薦書（所定用紙）
- 3：入学志願票の写し
- 4：成績証明書
- 5：在学証明書
- 6：当該大学の学習規程等

出願資格（10）及び（11）の場合

- 1：出願資格審査申請書（所定用紙）
- 2：出願資格（10）の三または（11）の一を証明する書類（大学・研究機関等の発行する証明書）  
（出願資格（10）の三または（11）の場合のみ提出）
- 3：入学志願票の写し
- 4：成績証明書
- 5：卒業証明書

## 4 願書受付

### (1) 受付期間

平成29年11月14日(火)から11月16日(木)まで

### (2) 出願方法

窓口は、入試課(大岡山キャンパス西8号館E棟212号室)となります。すずかけ台キャンパスでは受け付けませんので注意してください。

**窓口受付時間は、平成29年11月14日(火)から11月16日(木)の10時~12時、13時15分~15時までとします。この時間以外は一切受け付けません。**

郵送の場合は必ず市販の封筒(角形2号)に入れ、表面に「環境・社会理工学院技術経営専門職学位課程(社会人募集)出願書類在中」と朱書きのうえ、速達書留郵便とし、11月16日(木)必着とします。

**願書記入事項及び提出書類の不備なものは受理しません**ので、郵送・提出前には書類が揃っていること、記入漏れのないことを必ず確認してください。(受付期間を十分考慮して**11月14日(火)**に到着・提出するように心がけてください。)

また、提出書類の内容変更はできませんので注意してください。

郵送・提出先

〒152-8550

東京都目黒区大岡山2-12-1-W8-103

東京工業大学学務部入試課

## 5 出願書類等

志願者は、次の書類等を一括して所定の期日までに入試課に提出してください。

出願書類等	備考
① 入学志願票(所定用紙)	別添のものを使用
② 写真票・受験票(所定用紙)	別添のものを使用
③ 入学検定料 30,000円  ・別添の払込取扱票にて全国の金融機関・ゆうちょ銀行又は郵便局(三井住友銀行を利用した場合は手数料無料)の受付窓口で払い込み、「振替払込受付証明書(お客さま用)」を志願票裏面の所定の貼り付け欄に貼付してください。 ・入学を希望する者又は主たる家計支持者が居住する地域の自然災害により罹災し、災害救助法(昭和22法律第118号)の適用を入学願書の提出時に受けており、検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学検定料を免除することがあります。下記のような場合に免除となりますが、詳しくは出願期間前に入試課までお問い合わせください。 1) 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出した場合 2) 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合	
④ 受験票送付用封筒(所定のもの) 住所・氏名等を記入し、 <b>372円分の切手</b> を貼付してください。 なお、受験票は11月24日(金)頃速達郵便で発送します。11月30日(木)までに届かない場合は、入試課へ確認してください。 (TEL.03-5734-3990/平日9:00~17:15 [12:15~13:15 除く])	別添のものを使用

出願書類等	備考
⑤ 外部英語テストのスコアシート <ul style="list-style-type: none"> <li>・本選抜試験のうち英語試験は筆答試験を行わず、外部英語テストのスコアシートにより評価します。外部英語テストのスコアシートは、TOEFL-iBT, TOEFL-PBT 及び TOEIC のいずれかに限ります。</li> <li>・有効期限は当該試験願書提出期限からさかのぼって2年以内とし、<u>TOEFL-ITP, TOEIC-IP 等の団体特別受験制度によるスコアシート及び TOEIC S&amp;W は利用できません。</u></li> <li>・スコアシートの原本を出願時に提出してください。出願時に提出できない場合は、口頭試問の時に持参し、提出してください。</li> <li>・スコアシートの原本とは、受験者本人に郵送されたスコアシートを指します。原本のコピーや、ホームページからダウンロード（印刷）したスコアシートは受理しません。</li> <li>・一度提出したスコアシートの差替えは認めません。</li> </ul>	スコアシートは原本を提出すること (コピー不可)  有効期限： 2015年11月17日以降に受験したものに限り
⑥ 成績証明書 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部4年分の成績証明書を提出してください。</li> <li>・教養課程と専門課程に分かれている場合には、両方提出してください。</li> <li>・大学に編入した者は、編入学前の大学等の成績証明書もあわせて提出してください。</li> </ul>	
⑦ 卒業証明書又は卒業見込証明書 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部の卒業証明書又は卒業見込証明書</li> <li>・出願資格（2）の者で、学士の学位を授与された者は、大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書を提出し、学士の学位を授与される見込みの者は、学位授与申請予定である旨の申立書（書式自由）を提出してください。</li> </ul>	
⑧ 派遣承諾書 <ul style="list-style-type: none"> <li>・志願者の所属している機関等の発行のもの。</li> <li>・派遣承諾者は代表者、人事担当責任者等とします。</li> <li>※派遣承諾書（所定用紙）の提出ができない場合は、在職証明書、社員証の写し等、在職していることを証明できる書類を提出してください。</li> </ul>	別添のものを使用
⑨ 志望理由書（所定用紙） <ol style="list-style-type: none"> <li>1. なぜ本課程で学びたいか</li> <li>2. これまでに行った誇らしいと思う事柄</li> <li>3. 関心ある学習・研究テーマとその動機</li> </ol> <p style="text-align: center;">をそれぞれ500字程度にまとめ、記載してください。</p>	別添のものを使用  ただし、別添の様式に準じていれば、ワープロ等で作成したものを提出しても差し支えない

<該当者のみ提出>

該当者	出願書類	備考
外国人留学生	「住民票（外国人）」（又は在留資格、滞在期間の確認ができるもの、在留カードの写し表面と裏面等） ※ただし、「住民票（外国人）」をコピーしたものは不可とします。	
出願資格 3 の（9）、（10） 又は（11）での志願者	「本学が発行した認定通知書」 （出願資格事前審査の結果通知）	

**注）志願者は、出願手続をする前に、志望する指導教員と面談してください。**

## 6 選抜方法

筆答試験（英語試験（外部英語テストのスコアシート提出による）及び専門科目）、口頭試問、成績証明書及び志望理由書により合格者を決定します。

## 7 試験期日

期 日 — 12月3日（日）

筆答試験 — 9：30～11：30  
論理力、思考力、記述力等を問う

口頭試問 — 12：30～18：00（予定）の間に順次行います。  
（受験者各自の時間帯は受験者数により変わることがあります。）  
技術経営に関わるこれまでの業績、及び今後の学習テーマ等に関する質疑応答

**注）試験場所、時間については、受験票発送（11月24日（金）頃）の際に通知します。**

## 8 合格者発表

平成29年12月8日（金）12時頃より、本学ホームページ（新着入試情報）において合格発表を行います。また、同日付で合格者には合格通知書を郵送します。

なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

## 9 入学手続き

平成30年3月28日（水）及び29日（木）（予定）に、本学大岡山キャンパス内で行います。詳細は、合格者への書類交付時（平成30年1月下旬頃に送付予定）にお知らせします。

また、入学料は282,000円（予定）、授業料半期分は267,900円（予定）です。（在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。）

なお、所定の期日に手続を行わなかった場合は、入学を許可できませんので十分注意してください。都合により本人が来られない場合は、代理人でも差し支えありません。

## 10 その他、注意事項

- (1) 出願した書類は一切返却しません。
- (2) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- (3) 願書提出後の出願書類の内容変更はいかなる場合も認めません。
- (4) 一度納入した入学検定料は、願書受理後はいかなる理由があっても返還しません。  
※特に、出願資格審査を受ける場合には、審査の結果がわかるまで、払い込まないでください。
- (5) 筆答試験、口頭試問の際には必ず受験票を携帯してください。
- (6) 志願者に対する宿泊施設の紹介、斡旋はしません。
- (7) 最新情報は本学ホームページ（新着入試情報）で公表しますので、志願者ご注意ください。
- (8) 過去問については、ホームページに掲載しておりますので、ご利用ください。

[http://www.titech.ac.jp/graduate\\_school/admissions/past\\_exam\\_papers.html](http://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html)

<http://www.mot.titech.ac.jp>

- (9) 本課程は、厚生労働省による専門実践教育訓練給付制度の指定講座です。給付を希望する場合、入学の1ヶ月前までに公共職業安定所（ハローワーク）において事前の手続きを行う必要があります。詳細はハローワークホームページ（[https://www.hellowork.go.jp/insurance/insurance\\_education.html](https://www.hellowork.go.jp/insurance/insurance_education.html)）を参照してください。
- (10) 業務の都合・育児・介護やその他の事情により、学修時間が十分に確保できず、標準修業年限内での修業が困難であると想定される場合に、標準修業年限を超えた一定の期間にわたり、計画的な履修ができる長期履修制度があります。制度の詳細は次の URL からご確認ください。

《東京工業大学長期履修制度》

[http://www.titech.ac.jp/kyoumu/procedure/pdf/procedure/choki\\_seido.pdf](http://www.titech.ac.jp/kyoumu/procedure/pdf/procedure/choki_seido.pdf)

- (11) 本課程についてご不明な点は、下記までご連絡ください。

教授 比嘉邦彦

アドレス [khiga@mot.titech.ac.jp](mailto:khiga@mot.titech.ac.jp)

電話 03-3454-8732（環境・社会理工学院等田町地区事務室）



## 入学希望者へのメッセージ

### 誰も見たことのない未来をつくりだせ

世界はいまだ謎に満ち、課題にあふれています。生命はいかにして誕生したのか。人工知能は医療を、経済を、社会を、どう変えるのか。病に伏した人をどう癒すのか。宗教間の対立は止むことはなく、エネルギー問題も重くのしかかっています。一朝一夕には答えの見いだせないこうした謎や課題をめぐって、いまこの瞬間も、世界中の科学者や技術者、その他各分野の専門家たちが、その叡智をかけて議論しあっています。真理の探究と幸せの追求をかけた人類のあくなき挑戦。その壮大な歩みに、あなたは仲間入りしようとしています。

1881年に創立されて以来、時代を切り拓くフロントランナーとして、理工系総合大学としての使命を担ってきた東京工業大学。目指すのは、科学技術の強い基盤を持ちながら、従来の“理系”の枠を超え出ること。なぜなら、どんなに高度で専門的な知識でも、ただそれを持っているだけでは、わくわくするような発見や発明に出会うことも、困難な問題を解決に導くことも、決してできないからです。だからこそ、本学の門を叩こうとするあなたには、以下のような心構えを持つてのぞんでほしい。“理系”の枠に安住しない人を、本学は求めています。

#### ①高い志を持ってほしい

これからの時代、ただ引かれたルールに乗っかっていくだけ、ただ自分の専門に没頭するだけでは通用しません。あなたは将来、何を為したいのか。社会に、どんな貢献をしたいのか。高い志を持ち、それを育てる人であってほしい。その志にかたちを与えるのが科学技術です。東工大は、志をかたちにしようとする人を支えます。失敗をおそれず挑戦し、すすんで学ぶ人を歓迎します。

#### ②多角的な視点を持ってほしい

常識や「空気」にとらわれた思考では、新しい発想は生まれません。自分の強みを持ちつつ、幅広い分野に興味を広げ、専門の異なる人や文化の異なる人とも協働できる柔軟な姿勢を持って、世界にはばたいてほしい。ものごとを多角的にとらえる視点からこそ、「そんな考え方もあったのか!」と人々を驚かせるアイデアは生まれます。人と人、知と知を結びつけようとする人を本学は求めます。

さあ、誰も見たことのない未来を、ともに作り出していきましょう。気概あるみずみずしい知性と出会えることを、期待しています。

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### 【修士課程】

求める人材像	基盤的な専門力、並びに、幅広い教養、そして、論理的に表現できる力を身に付け、倫理観と未知の世界に挑戦する意志をもって、自ら学び考えて物事に取り組むことができる人材を求めます。
求める力	専門力：基盤的な専門力
	教養力：物事を俯瞰的に把握できる幅広い知識と語学力
	コミュニケーション力：論理的に表現でき、理解しあうことができる力
	展開力：整理及び分析でき、また、豊かな発想力や創造力を用い、知識や技能を活用して基本的な問題を解決できる力

### 【専門職学位課程】

求める人材像	幅広い専門力、並びに、国際的に通用する教養、そして、多様な考えをまとめることができる力と科学技術の深奥を究めようとする探求力を身に付け、実践的な物事に取り組むことができる人材を求めます。
求める力	専門力：幅広い専門力
	教養力：物事を俯瞰的かつ国際的な視野で把握でき、国際的に通用する幅広い知識と語学力
	コミュニケーション力：論理的かつ状況に応じた説明ができ、多様な考えをまとめることができる力
	展開力：科学技術の深奥を究めようとすることができ、また、豊かで確かな発想力や創造力を用い、幅広い知識や技能を自在に活用して実践的な問題を解決できる力

アドミッション・ポリシー

### 各学院が求める人材像（抜粋）

#### 【環境・社会理工学院】

環境・社会理工学院修士課程では、人類と社会の持続的発展に貢献するために理工学的叡智に加えて人文社会科学的叡智を広く環境や社会に応用・展開して卓越した学術・技術を創生するとともに、高い知性と豊かな教養、国際的な広い視野と深い思考能力を備え、社会と技術の変化に柔軟に適応でき、環境、産業、学術、政策等の分野において国際的に通用する科学・技術の専門家として、幅広い視野をもち、グローバル社会で活躍できる人材を養成する。そこで、本学院では特に次の能力と適性を持つ人材を求めます。

- 理工学・人文社会科学の基礎的素養を習得しており、それに基づいて論理的に思考・表現できる人
- 豊かで幅広い知識を有した上で、様々な視点から多面的にかつ柔軟にものごとを捉えることができる人
- 国際的な視野から研究・技術開発を進めるために必要な語学力を有している人
- 未知の世界に果敢に挑む旺盛な研究意欲を有し、人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志を持つ人

#### 《技術経営専門職学位課程》

技術経営専門職学位課程では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- 自らの経験から得た知識や習得した知識を基に、現状を踏まえて論理的かつ客観的に思考し、表現できる人
- 豊かで幅広い知識を有し、様々な視点で多面的にものごとを捉えることができる人
- 国際的に活動できる語学力を有している人
- 向上心にあふれ、社会を主導する意欲を有している人

## 東工大教育ポリシー

本学では、以下に記載している「教育目標」と「養成する人材像」を掲げるとともに、全学及び各系・コース・専門職学位課程で「卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」、「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を定め、教育ポリシーとして位置づけています。

教育ポリシー全文は次の web サイトに掲載中です。

[教育ポリシー] << [東工大の方針] << [東工大について] << [本学 HP トップ]  
<http://www.titech.ac.jp/about/policies/education/index.html>



### 教育目標

知的好奇心に端を発した学術研究は新たな技術と産業を生み、不可能を次々と可能にし、現代社会を築いてきました。現在も、真理の探究と知の継承及び発展に加えて、持続可能な社会に導く革新的科学技術の創出が求められ、世界最高水準の研究とともに教育に対する期待がますます高まっています。

それに応えるべく、本学では、

- ・ 確かな専門力
- ・ 豊かな教養力
- ・ 柔軟なコミュニケーション力
- ・ 以上の修得した知識や技能等を統合し活用できる多様な展開力

を身に付け、「挑戦し続けるフロントランナー」として困難に立ち向かう気概と倫理観をもって、より良い社会を築くことができる人材を養成します。

そのために、世界最高水準の研究の中に学生を招き入れ、学生が自ら学び考える教育を実施します。

### 養成する人材像

確かな専門力、豊かな教養力、柔軟なコミュニケーション力、多様な展開力を身に付け、科学技術を基盤としてより良い社会を築くことができる、「挑戦し続けるフロントランナー」を養成します。

#### 〈修士課程〉

##### 「国際的に貢献できる科学技術の専門家」

修士課程では、幅広い専門力、並びに、国際的に通用する教養、そして、多様な考えをまとめることができる力と科学技術の深奥を究めようとする探求力を身に付け、実践的な物事に取り組むことができる人材を養成します。

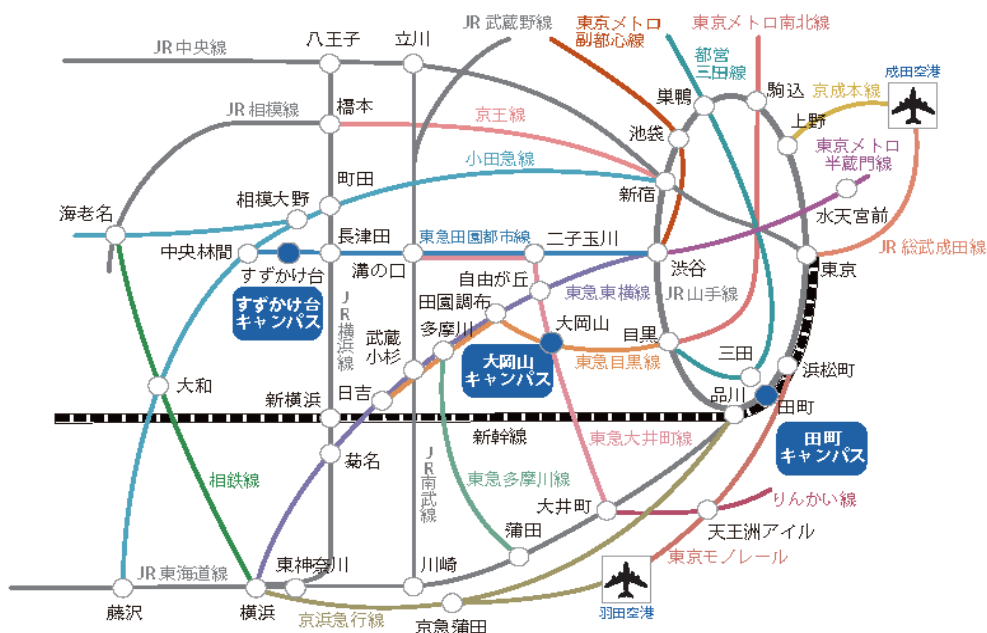
#### 〈専門職学位課程〉

「イノベーション創出のリーダーとして、科学技術を活用し、自らの理論を構築して産業や社会の発展に貢献できる実務家」専門職学位課程では、実践的な専門力、並びに、国際的に通用する知識と語学力、そして、多様な考えをまとめることができる力と物事の本質及び普遍性を探求し、イノベーション創出及びビジョン策定できる力を身に付け、実践的な物事に取り組むことができる人材を養成します。

# MAP

- 大岡山キャンパス
- すずかけ台キャンパス
- 田町キャンパス

東京急行大井町線・目黒線（大岡山駅下車徒歩1分）  
 東京急行田園都市線（すずかけ台駅下車徒歩5分）  
 JR山手線・京浜東北線（田町駅下車徒歩2分）



## 東京工業大学

[連絡先]

〒152-8550

東京都目黒区大岡山2-12-1-W8-103

東京工業大学学務部入試課

電話 03-5734-3990

(平日9:00~17:15 [12:15~13:15を除く])

E-mail nyushi.daigakuin@jim.titech.ac.jp

ホームページ <http://www.titech.ac.jp/>

新着入試情報 [http://www.titech.ac.jp/graduate\\_school/news/index.html](http://www.titech.ac.jp/graduate_school/news/index.html)